



まいいた

平成30年度

1月号

平成31年1月7日

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/maita/>

新しい時代のはじまり 「6つのC」を大切に…

校長 太田 正寿

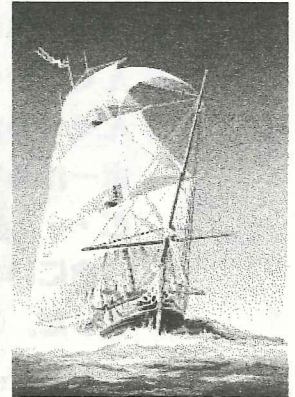
新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年1年、蒔小の子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様にとりまして、健康でよい1年になりますようお願いしております。また、今年が平成最後の年、新しい元号がきまり、新たな時代の幕開けにもなります。蒔田っ子一人ひとりも、新たな気持ちで、めあてに向かい、「やる気いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい」にがんばってほしいと願っています。

さて、昨年1月号では、「3つのC」についてお話をしました。*Chance チャンス *Challenge チャレンジ *Change チェンジ 今回は3つ加え、「6つのC」についてお話をします。

「6つのC」は、皆さんご存知のように、昨年、がん治療薬である「オプジーボ」の開発に携わり、ノーベル生理学賞を受賞した、京都大学特別名誉教授・本庶佑先生が、「ものごとには不可能はない、必ず道がある。」という信念のもとに、自身のモットーとして掲げたものです。

それは、「好奇心を大切に、勇気をもって、困難な問題に挑戦し、必ずできるという確信を持ち、全精力を集中させ、あきらめずに継続することで、時代を変革するような研究を世界に発信することができる。」というものでした。



好奇心 Curiosity

挑戦 Challenge

集中 Concentration

6つの
「C」

亥

勇気 Courage

確信 Confidence

継続 Continuation

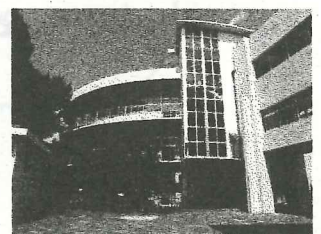
一つひとつはよく使われる言葉ですが、日頃、学習活動をしている子どもたちにとっても、この「6つのC」は大切です。これから施行される新学習指導要領のキーワードある「主体的・対話的で深い学び」の骨格を築くものだと思います。子どもたちのやる気や意欲、自主・自立の態度を育む要因は、たくさんあると思いますが、この「6つのC」を意識し、実践することは効果的です。

つまり、おもしろそうだと興味を持ったら、まずはやってみる。続けて、一生懸命やってみる。たくさん成功したり、失敗したりする。でも、「そうか、なるほど、こんなことだったんだ。」とたくさんの「気づき」や時には、「わかった、できた、また、やりたい。」という気持ちが出てくる。勿論、日常的な努力は不可欠ですが、このような日々の積み重ねが、学習する楽しさ、おもしろさにつながり、自分自身を一步一步成長させていきます。『諦めずに頑張ること。』夢や目標を実現するには、その積み重ねしかありません。

よく、「努力はうそをつかない。」という言葉を目にします。自分自身の人生経験からも、この言葉には説得力があります。

蒔田っ子も、日々の努力の積み重ね、しっかりとこの「6つのC」を実践することで、新たな自分の発見、そして成長へとつながることを確信し、学校としましても、教育活動の場で、子どもたちとともに、しっかりと具現化していきたいと思っております。

最後になりますが、2019年も学校、家庭、地域の方々と一緒に連携を図り、蒔田っ子にとって、「楽しく、安心・安全な学校」となるよう、教職員一同、精一杯がんばってまいりますので、学校へのさらなるご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



<今年も自慢の円形校舎>

<新しい時代の船出 皆様にとって よい1年でありますように！>